

# 山口県水道ビジョン

～安心・安全な水道を未来へつなぐ～

【概要版】



令和2年7月



山口県 環境生活部 生活衛生課

## 策定趣旨

### ○目的

水道事業を取り巻く環境は変化しており、人口減少による給水収益の減少、水道施設の老朽化による更新需要の増加、頻発する災害への対応、深刻化する人材不足などの様々な課題を抱えており、これらは、各水道事業者だけで解決困難なものが多くなっています。

厚生労働省は、水道事業を取り巻く環境の変化に対応するため「新水道ビジョン」を平成25年3月に策定しました。

平成30年12月には水道の基盤強化を図ることを目的に水道法が改正されました。

これらを踏まえ、このたび、山口県において、今後の山口県の水道事業の指針となる「山口県水道ビジョン」を策定しました。

### ○目標年度

(50年、100年先を視野に入れ)計画期間は、2020年度(令和2年度)から2029年度(令和11年度)までとする。

## 山口県の水道の現況

### ○水道の普及状況

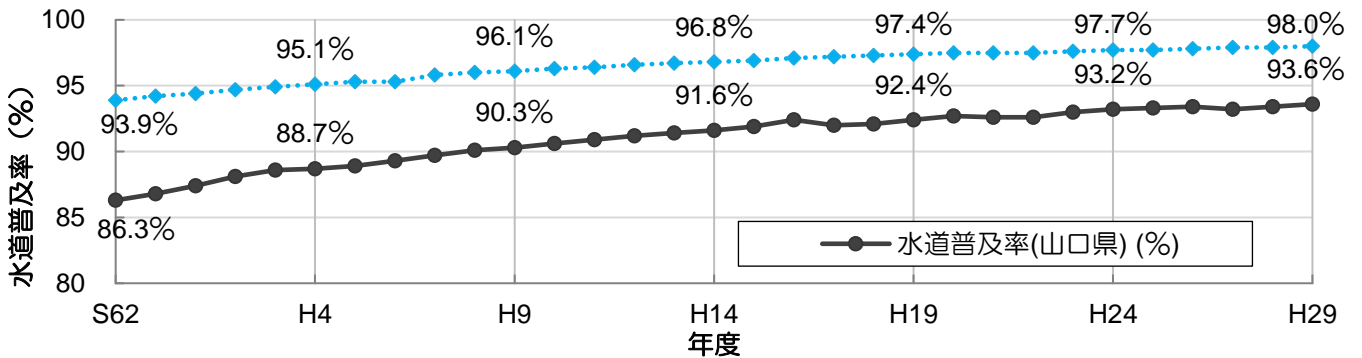


図 水道普及率の推移

### ○給水量の実績

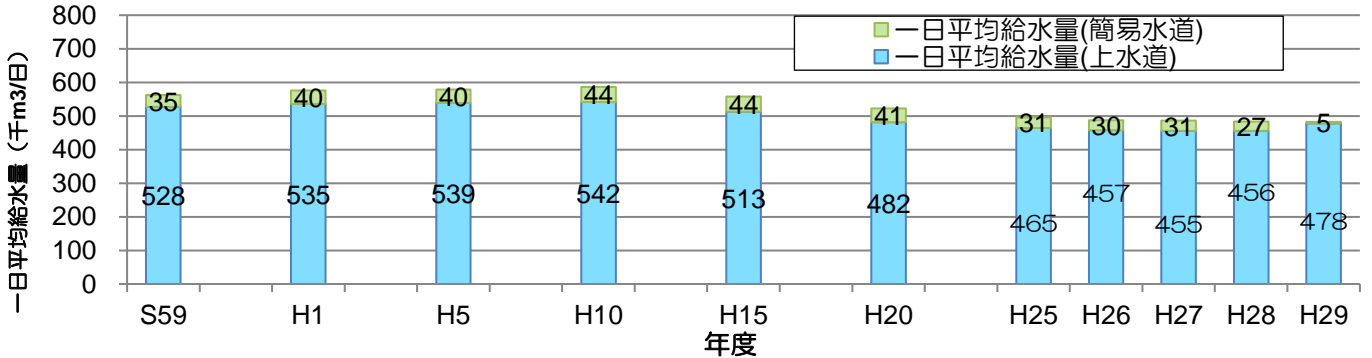


図 山口県の一日常平均給水量の推移

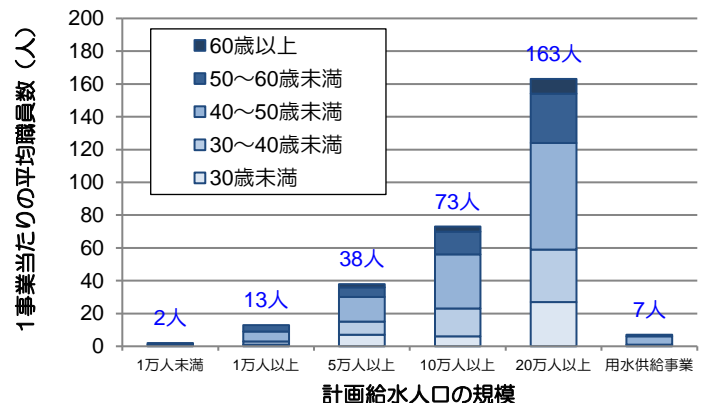
### ○水道施設

- 管路の老朽化率：19.3%
- 管路の耐震化率：25.3%
- 浄水施設の耐震化率：11.1%
- 配水池の耐震化率：39.4%

### ○水道料金(20m<sup>3</sup>当たり家庭用料金)

- 県内上水道平均：2,759円
- 県内簡易水道平均：2,984円

### ○職員の状況



### 課題の抽出

視点	主な課題
【安全】安全な水の供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;水質管理&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>クリプトスポリジウム等対策が未対応の施設があります。</li> </ul> </li> <li>&lt;水安全計画&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>水安全計画の策定が進んでいない状況にあります。</li> </ul> </li> <li>&lt;鉛製給水管&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>鉛製給水管率が高い状況にあります。</li> </ul> </li> <li>&lt;簡易専用水道&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>「簡易専用水道」の検査受検率が低い状況にあります。</li> </ul> </li> </ul>
【強靱】強靱な水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;施設の耐震化・更新&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化率、漏水率が高い状況にあります。</li> <li>耐震化計画の策定が進んでいない状況にあります。</li> <li>耐震化率が低い状況にあります。</li> <li>施設利用率が低い状況にあり、将来的に最大稼働率も低下することが想定されます。</li> </ul> </li> <li>&lt;危機管理&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>各種マニュアルや各種計画の策定が進んでいない状況にあります。</li> </ul> </li> </ul>
【持続】持続可能な水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;資産管理&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>アセットマネジメントの充実を図り、中長期的な視点で更新計画を策定する必要があります。</li> <li>設備台帳の整備が進んでいない状況にあります。</li> </ul> </li> <li>&lt;経営健全化&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>経営戦略の策定が進んでいない状況にあります。</li> </ul> </li> <li>&lt;人材育成と技術継承&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>水道職員の高齢化が進む見込みにあります。</li> <li>簡易水道事業の技術職員率が低い状況にあります。</li> </ul> </li> <li>&lt;環境負荷低減&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷低減に向けた取り組みを積極的に進める必要があります。</li> </ul> </li> </ul>

### 水道の理想像

山口県の水道の理想像は、「安心で安全な水を合理的な対価をもって今後も飲むことができること」です。

「安心・安全な水道を未来へつなく」を基本理念とし、「安全」「強靱」「持続」として、基本方針を定めました。

基本理念  
『安心・安全な水道を未来へつなく』

基本方針  
【安全】：安心・安全な水道

【強靱】：災害に強い水道

【持続】：持続可能な水道事業

### 目標設定と実現方策

基本理念	基本方針	項目	実現方策
『安心・安全な水道を未来へつなく』	安心・安全な水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質リスク対策の強化</li> <li>簡易専用水道等の衛生管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水安全計画の策定</li> <li>クリプトスポリジウム等対策の推進</li> <li>鉛製給水管の解消</li> <li>簡易専用水道、小規模貯水槽水道の管理強化</li> </ul>
	災害に強い水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震化・更新の推進</li> <li>危機管理対策の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震化・更新計画の策定及び推進</li> <li>危機管理マニュアルの策定</li> <li>応急給水対策の充実</li> </ul>
	持続可能な水道事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な資産管理</li> <li>経営健全化</li> <li>人材育成と技術継承</li> <li>環境負荷低減の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アセットマネジメントの充実</li> <li>水道施設台帳の整備</li> <li>経営戦略に基づく経営健全化</li> <li>現場研修と人材育成研修の実施</li> <li>省エネルギー対策の推進</li> </ul>

広域的な連携の推進

圏域外や県外を含めた多様な連携も考慮

## 圏域区分の設定

「東部圏域」、「中部圏域」、「西部圏域」の3圏域に区分します。



図 山口県の圏域

## 将来の見通し

### ○給水人口（2017年度（平成29年度））

約128万人（2045年度には約27万人（約21%）減少）

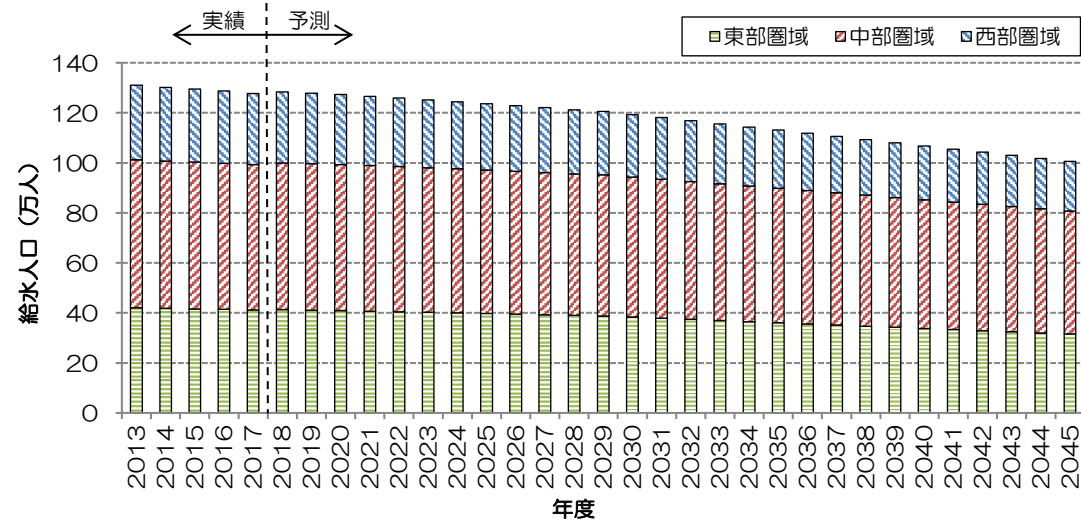


図 給水人口の見通し（水需要予測）

### ○給水量（2017年度（平成29年度））

約48万m<sup>3</sup>/日（2045年度には約10万m<sup>3</sup>/日（約21%）減少）

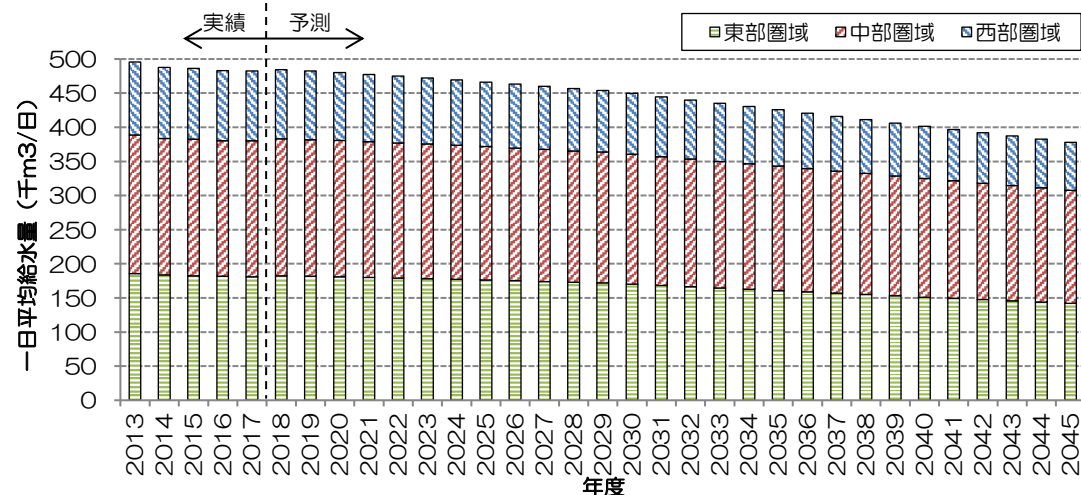


図 一日平均給水量の見通し（水需要予測）

## 関係者の役割分担

立場	役割
県	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の補助金や交付金、地方債の活用や地方交付税及び技術・経営に関する助言や指導等</li> <li>広域連携の推進において、検討・推進の場の提供と水道事業者間の必要な調整や支援</li> <li>水道事業者等への指導監督と簡易専用水道等衛生対策に関する情報の提供</li> <li>県内の水道に関する情報発信と水道事業者の広報活動への助言や支援</li> <li>その他、各種施策への取り組みに関する助言や指導等</li> </ul>
水道事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来を見据えた戦略的な事業経営への取り組み</li> <li>地域の実情に応じた広域連携の検討</li> <li>水道利用者との共通理解の促進や信頼関係の醸成に向けた取り組み</li> </ul>
水道用水供給事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来を見据えた戦略的な事業経営への取り組み</li> <li>受水団体と連携した、広域連携の検討</li> <li>受水団体の水道利用者との共通理解の促進や信頼関係の醸成に向けた取り組み</li> </ul>
水質検査機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質検査の信頼性の向上と事業者に対する水道水質管理に係る的確な助言や災害、水質異常時の協力</li> </ul>
利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用する水道の現状や課題を十分に認識するとともに、水道事業者が取り組む各種施策に関心、理解、協力</li> </ul>

## 実施体制の構築とフォローアップ

本県水道ビジョン策定後に、県と県内の全ての水道事業者の意見交換や、施策の実施について話し合うための協議の場の設置等について検討してまいります。

また、本県水道ビジョンの取り組み内容について、定期的に見直しを実施状況や他計画との整合性を確認するとともに、進捗に課題がある場合や新たなニーズがみられる場合には、必要に応じて、計画のさらなる推進や見直しを行ってまいります。

